

1 題材名 色の世界を楽しもう (B鑑賞)

2 題材の目標

- 日本画と油彩画のもつ雰囲気や色彩に対して興味・関心をもち、作品に対する理解や見方を広げようとする。(美術への関心・意欲・態度)
- 自分なりの見方、感じ方で主体的に鑑賞し、日本画と油彩画の絵画のよさや美しさを感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 教材観

絵画は、顔料と油を用いた油彩画、顔料と膠を用いた日本画、水彩絵の具を用いる水彩画などと、絵の具などの材料からジャンルを区別することができる。油彩画などはヨーロッパを中心に起こった絵画であり、日本画は日本の文化の中で生まれ、世界の美術の中でも独特の美しい効果をもつ優れた絵画とされている。

歴史的には、日本の絵画と西洋の絵画の交流があり、それぞれに影響を与えたり受けたりしながら発展してきた流れがあるが、日本画と油彩画がもつ雰囲気や色彩を比較すると日本画には色や形、線描の美しさだけでなく、受け継がれてきた技や伝統的な表現様式などがあることに気付く。

そこで、日本画の中でも伝統的な掛け軸と諸外国の油彩画をともに鑑賞することで、それぞれがもつ独特の表現のよさや美しさを感じとることができる。日本の伝統文化についても知る機会となると考える。

さらに、美術館等での絵画鑑賞の経験が少ない生徒にとっては、作品を自分なりの感じ方で鑑賞することで、作品への理解や見方を広げる手立てになると考え、この題材を設定した。

(2) 生徒の実態 (男子17人 女子15人 計32人)

入学時の調査では、およそ9割の生徒が小学校での図画工作の学習に苦手意識をもっていたが、ほとんどの生徒が美術の学習に対して楽しく意欲的に取り組むことができている。全般的に自分なりの計画を立て、楽しみながら生き生きと活動する様子が見られるが、自分のアイデアや気付いたことなどを積極的に発言できる生徒は数名である。

日本の美術に関する事前のアンケートでは、資料集に載っている作品や作者について、聞いたことはあっても美術館等で作品を見たり作品の意味を知ったりしている生徒はほとんどいない現状である。

(3) 指導観

美術館で絵画などを鑑賞した経験をもつ生徒がほとんどいないことから、美術館から複製画を借用し、「二中美術館」として諸外国の絵画と日本の掛け軸を展示し、鑑賞本来の意義であるじっくり作品を見ることを通して、絵を見ることのよさや楽しさを感じられるように場を工夫したい。

また、掛け軸を展示する場を再現したり、諸外国と日本の絵画について地域の美術館から学芸員をゲストティチャーとして招き解説を加えたりすることで、諸外国の絵画と日本の絵画の雰囲気や色彩の違いなどを感じとりやすくなるようにしたい。

鑑賞はとかく受け身になりがちであるが、学習を通して主体的な鑑賞態度を養うだけでなく、友達と共に鑑賞し友達からの違った見方を得ることで、新しい感じ方に触れ、自分の見方を広げたり、日本と諸外国の絵画のよさや美しさを感じとったりすることができるようにしたい。

4 学習計画 (2時間取り扱い)

- 第1次 雰囲気と色を感じよう …………… 1時間
- 第2次 日本の伝統的な文様や図柄を知る …………… 1時間

評価規準	
美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
日本画と油彩画のもつ雰囲気や色彩に興味・関心をもつ。	鑑賞を通して、日本画と洋画のそれぞれの作品のよさや美しさを感じ取ることができる。

5 本時の指導



(1) 目標

- 日本画と油彩画の鑑賞を通して、日本的な雰囲気や色彩のよさを感じ取ることができる。

(2) 準備・資料

複製画 (油彩画9点, 日本画5点)・ワークシート・チラシ等印刷物・はさみ・紙袋

(3) 展 開

学習内容・活動	教師の指導・評価 (評)は評価の視点・方法									
<p>1 絵画の見方について知る。</p> <p>①描かれている場面 ②作者の表現意図 ③絵の雰囲気 ④色からの感じ</p> <p>2 油彩画と日本画の雰囲気と色彩を感じとる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>雰囲気と色彩を探そう</p> </div> <p>(1) 油彩画を探そう。</p>  <p>(2) 日本画を探そう。</p>  <p>(3) 日本画と油彩画の色彩を比べよう。</p> <p>予想される生徒の気付き</p> <table border="1" data-bbox="293 1283 745 1597"> <thead> <tr> <th></th> <th>油彩画</th> <th>日本画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雰囲気</td> <td>・遠近感がある ・華やかな感じ</td> <td>・静かな感じ ・平面的な感じ</td> </tr> <tr> <td>色 彩</td> <td>・鮮やか ・混色された色 ・多くの色を使用</td> <td>・暗い色 ・濁った色 ・淡い色 ・色数が少ない</td> </tr> </tbody> </table>		油彩画	日本画	雰囲気	・遠近感がある ・華やかな感じ	・静かな感じ ・平面的な感じ	色 彩	・鮮やか ・混色された色 ・多くの色を使用	・暗い色 ・濁った色 ・淡い色 ・色数が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 油彩画の複製画を1枚提示し、様々な見方ができることに関心がもてるよう、①②について簡単に触れ、③④について特に注目できるようにする。 美術館等での鑑賞の際の基本的な注意事項やマナーなどについても触れる。 油彩画と日本画について、作品から感じられる雰囲気と色彩に視点を置き、鑑賞できるよう支援する。 油彩画の作品を美術館学芸員の説明を受けながら鑑賞し、雰囲気や色彩について感じとれるようにする。 油彩画の複製画9点を展示し、自分の見方や感じ方で鑑賞できるように支援する。 複製画から感じられた雰囲気や色彩などについて、互いに意見交換しながら鑑賞できるよう支援する。 掛け軸を展示する場面から見せ、日本画に対する興味・関心を高められるようにする。 日本画の作品を美術館学芸員の説明を受けながら鑑賞し、雰囲気や色彩について感じとれるようにする。 日本画の複製画5点を展示し、自分の見方や感じ方で鑑賞できるように支援する。 複製画から感じられた雰囲気や色彩などについて、互いに意見交換しながら鑑賞できるよう支援する。 油彩画と日本画の複製画から、色の違いに注目しながら比較鑑賞し、日本的な雰囲気の色と西洋的な雰囲気の色との違いに気付くことができるよう支援する。 日本画は自然のよさや美しさ、人々の暮らしなどと深い関わりをもっていることに気付くよう支援する。 雰囲気については、表現されている場面から聞こえてきそうな音や声などを感じとることで、より印象強く鑑賞できるよう支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>美術への関心・意欲・態度</p> <p>(評)作品のもつ雰囲気や色彩を自分の見方で感じとろうとしている。</p> <p>(観察・ワークシート・言葉がけに対する反応)</p> </div>
	油彩画	日本画								
雰囲気	・遠近感がある ・華やかな感じ	・静かな感じ ・平面的な感じ								
色 彩	・鮮やか ・混色された色 ・多くの色を使用	・暗い色 ・濁った色 ・淡い色 ・色数が少ない								
<p>3 日本的な色を探し収集する。</p> <p>4 本時のまとめをする。 身近にある日本的な色彩と伝統を知る。 ・鯉のぼり・風呂敷・着物・浴衣など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 油彩画と日本画の鑑賞から感じた日本的な雰囲気や色彩をもとに、チラシやポスターなどから日本的な色を探し出し収集できるよう支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>鑑賞の能力</p> <p>(評)日本画のよさや美しさ味わい、日本的な色を感じ取ることができる。</p> <p>(観察・ワークシート・収集した色)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある伝統の色と文様を知り、日本の伝統について確認し、次時の学習への興味・関心が高められるようにする。 									